

# 本当にカラフルな世界

岡山市・岡山大付属小5年 三枝 日菜乃



## 世界の肌 24色クレヨンに

【ニューヨーク共同】米国で9月から始まる新学期に向け、世界のさまざまな肌の色を反映した24色入りクレヨンセットが注目を集めている。子どもたちが多様性を理解する一助になるとして、中西部ミシガン州の高校生が小学校や幼稚園に製品を寄付する活動を行ったところ、募金額が目標の約3倍に達した。

クレヨンセットは米画材大手クレヨラが昨年夏に発売した「カラーズ・オブ・ザ・ワールド」で、色鉛筆やペンもある。世界に40以上あるとされる肌の色を再現するため、化粧品メーカーの経営トップと提携。ローズやアーモンド、ゴールドといった色をベースに明暗の変化を

## 多様性理解へ 米の子どもに寄付活動

つげ24色を作製した。「子どもたちの誰もが自分の作品に自分自身を反映できるようにしたい」。クレヨンセットの寄付を呼び掛けたのはナタリー・フッドさんだ。社会が抱える課題の解決策を考える授業の一環で取り組んだ。個人間の送金が簡単にできるスマートフォンアプリを活用したという。

6月中旬までの約2週間で2806ドル(約30万円)が集まり、目標の950ドルを大幅に上回った。購入したクレヨンは354箱、色鉛筆も222箱に上り、3種類の肌の色がセットになったほんそうこつや多様性をテーマにした本も一緒に届けるといふ。「想像以上の成果が得られたことで、地域の人々の協力を感謝の気持ちを表した。

クレヨンセットの価格はクレヨラの公式通販サイトで299ドル。

世界のさまざまな肌の色を反映した、米画材大手クレヨラの24色入りクレヨンセット。

私のクレヨンには「はだいろ」がありません。代わりに、「うすだいいろ」が入っています。はだの色は人それぞれだから、今は「はだいろ」と言わないんだよと教えてもらいました。でも、誰もうすだいいろとは言わずに、はだいろと言っています。「うすだいいろ」を使わないといけないのは、少し不便だなと思っていました。「世界のはだ 24色クレヨン」

「に」という記事を読んだときに、私はとてもうれしくなりました。このクレヨンセットは、「カラーズ・オブ・ザ・ワールド」といって、世界のさまざまなはだの色を反映したクレヨンが24色も入っているそうです。このクレヨンだと、自分のはだの色に近い色を選ぶことができ、自信をもって「はだいろ」という言葉を使うことができそうです。

今、学校でも、多様性を理解するために、いろんなことを勉強したり、たくさん取り組みが行われています。でも、その中でも、ただ言葉を変えただけだったり、配りよすることでも不便になったりすることもあります。

「はだいろ」を「うすだいいろ」に変えることも大切なことだと思っけれど、「はだいろ」という言葉をなくしてしまうのではなく、24色のクレヨンを作ることは本当にすごいことだと思いました。言葉を変えるより、もっと時間や手間がかかるかもしれない。けれども、こういった取り組みが増えると、もっと世界はカラフルで豊かになるのではないかと思いました。